

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E142I021		作曲法 (Method of Composition)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
選択	2	4	教育学部 令和2年度 以降入学生用	前学期	月2	日本語		単独						
担当教員	氏名 清水 慶彦													
	E-mail shimizu-y@oita-u.ac.jp 内線 7388													
授業の概要	中学校学習指導要領がさだめる「創作」の内容をふまえ、調性にもとづく音楽作品の基礎的な作曲法を学ぶ。そのことを通じて、楽曲の構造や音楽理論への理解を深めるとともに、楽譜の正しい書き方など、音楽科教員としての基本的な素養を身につける。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 音階や調性など、基礎的な音楽理論を理解し応用できる。								○						
目標2 旋律を作成し、和声や伴奏を付することができる。								○		○				
目標3 旋律と言葉の関係や反復・変化・対照など、中学校学習指導要領解説に示された「構成の工夫」ふまえた作曲実践ができる。								○						
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								8		2				
授業の内容														
1 基礎的な理論：音階と和音、旋律と和声														
2 旋律（メロディー）はどのように作られるか														
3 旋律の創作（１）動機、楽句、楽節の構造														
4 旋律の創作（２）旋律の形式														
5 言葉と旋律の関係														
6 旋律と和音の関係を考える														
7 旋律に和声をつける														
8 和声をもとに伴奏をつくる														
9 楽曲の構成の工夫とは														
10 楽曲の構造と形式														
11 さまざまな楽曲形式														
12 さまざまな作曲手法														
13 ここまでのまとめと制作課題の添削														
14 中学校学習指導要領では何が望まれているか														
15 制作課題の合評														
ラーニングポイント	A:知識の定着・確認		○	作曲実践をともなう能動的修学。				工夫その他の						
	B:意見の表現・交換		○											
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造		○											
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		課題の実践，作曲など（30h）。											
	事後学修		授業で明らかになった技術的問題の修正など（15h）。											
	想定時間合計		45											
教科書	授業中に資料を配布する。ただし、各自で五線紙を用意すること。													
参考書	『中学校学習指導要領解説 音楽編』（平成29年7月 文部科学省）ISBN978-4-87788-811-4													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業での課題実践		40%	○	○	○							
	作品提出		60%		○	○							
授業での課題実施，作品提出等により総合的に評価。													
注意事項													
備考													
リンク													
			URL										
担当教員の 実務経験の有無			○										
教員の実務 経験			大分県立芸術緑丘高等学校での作曲実技指導										
教員以外で 指導に関わる実務経験者の有無			○										
教員以外の 指導に関わる実務経験者			作品集CDの出版、楽譜の出版、国際音楽祭での作品の上演、委嘱作品の作曲などおもに「現代音楽」の領域での作曲家としての実務経験										
実務経験を いかした教育内容			創作実践で得た知見や、高等学校での指導の経験をふまえ、各学生の習熟度に応じた助言指導をおこないます。										